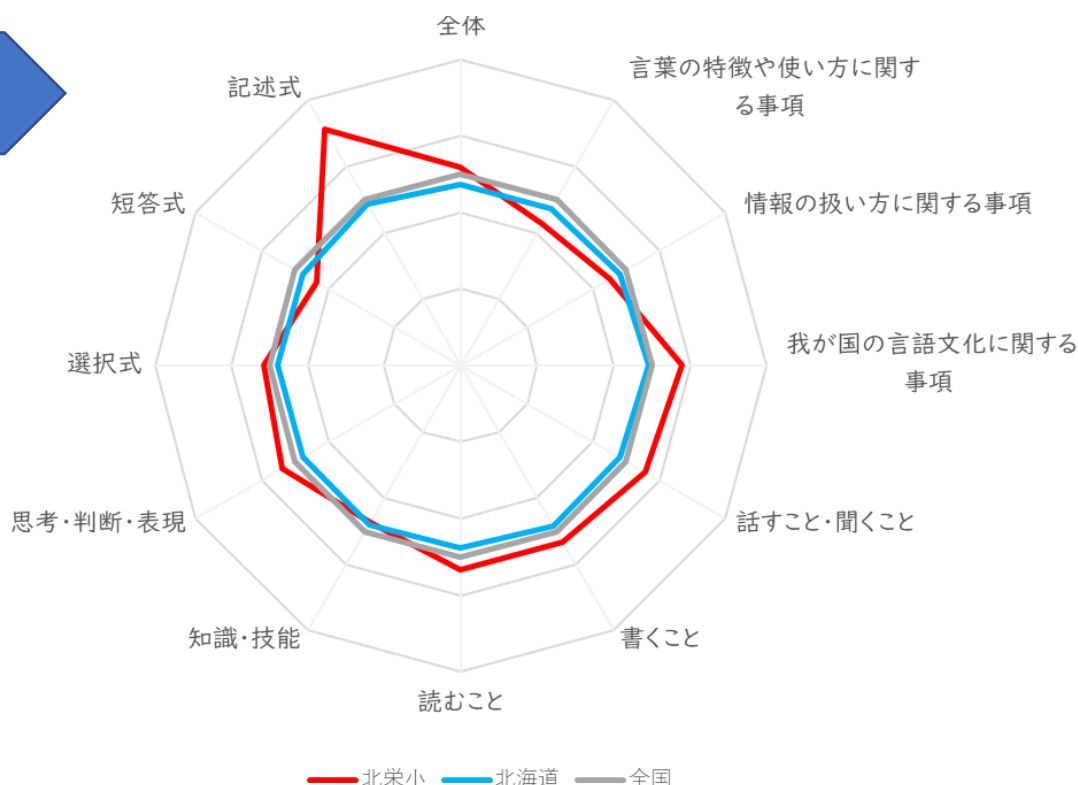


令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について(HP 用)

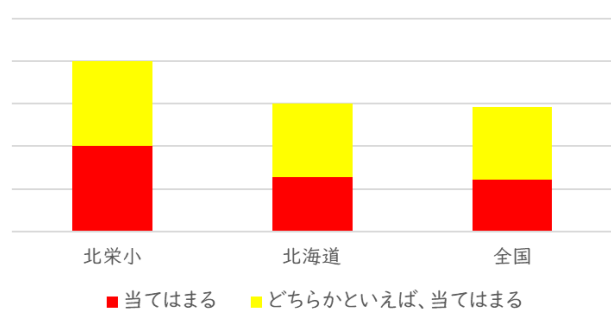
帯広市立北栄小学校

第6学年を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面であることを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

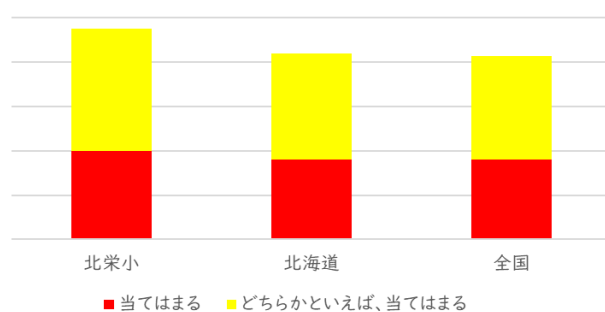
国語



国語の勉強は好きですか



国語の授業の内容はよく分かりますか

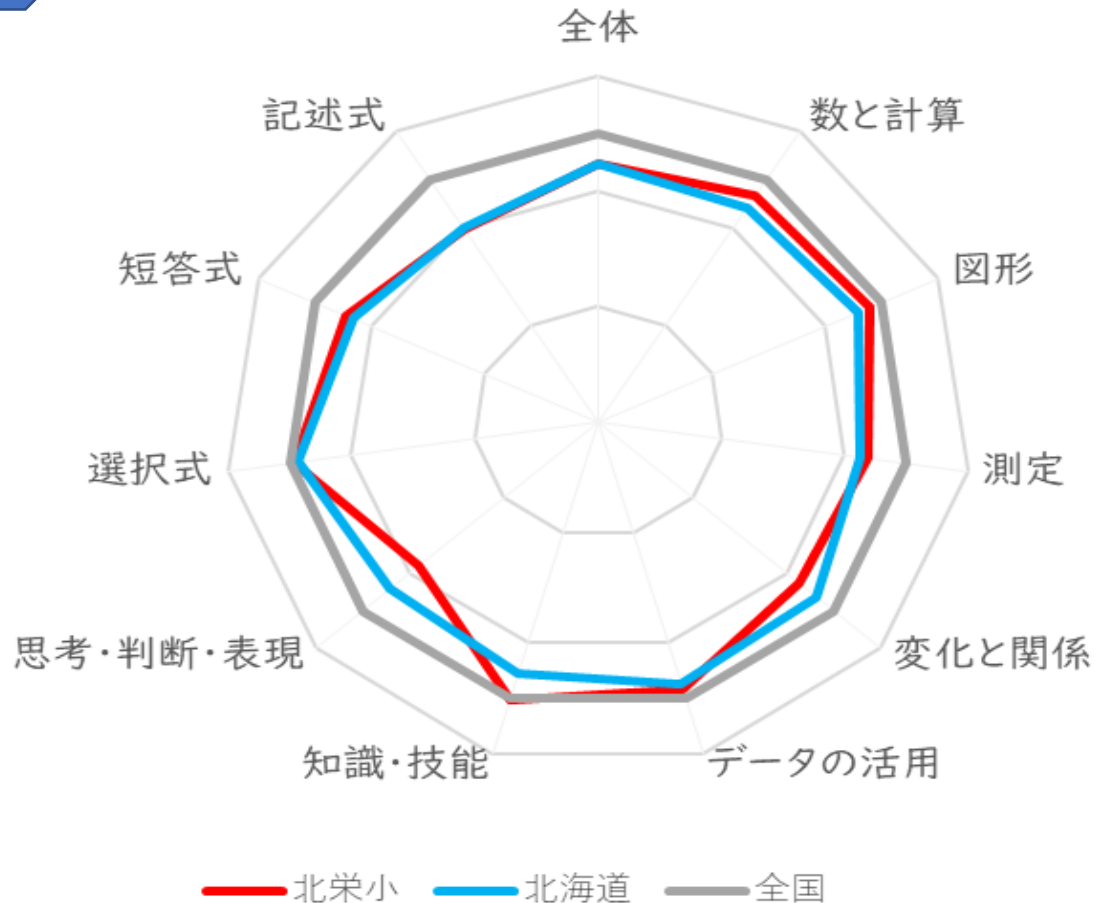


国語における本校の正答率は、全国・全道平均を上回りました。「日本の言葉や文化」についての問題は、全国・全道を大きく上回っており、日本の言葉や行事についての学びが深まっていることがうかがえます。また、「書く力」や「記述式の問題」では、自分の考えを文章で伝える力が育っています。マス作文の取組や記述活動の積み重ねの成果が出ています。児童質問では「国語が将来の役に立つ」項目において、「そう思う」と感じている児童が多く、国語の学びの価値を児童が実感できていることは大きな成果です。

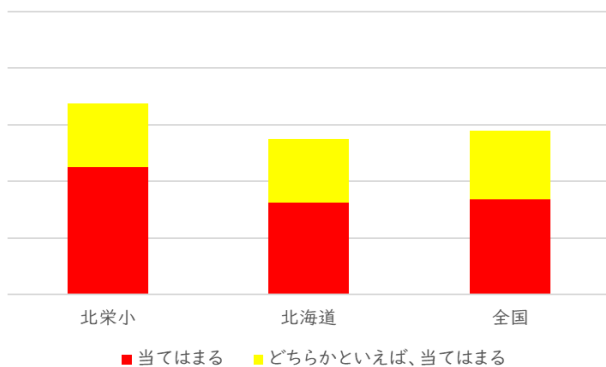
【今後に向けて】

「読むこと」や「情報の使い方」は他に比べると低く、読解力や情報を正しく使う力をもっと高める授業に取り組んでいきます。「知識・技能」は決して低い数値ではありませんが、やや全国を下回り、基礎的な知識の定着に向けて、学年の系統性を大事にしながら、学習内容の理解につなげていきます。

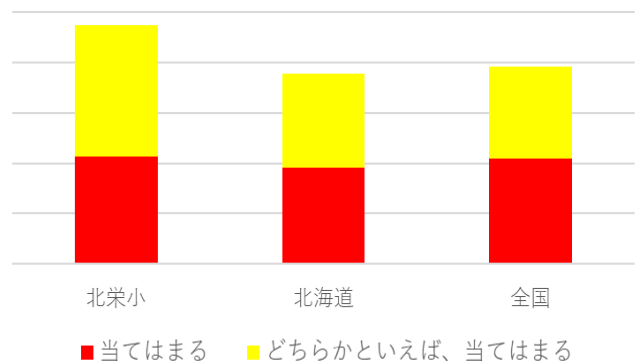
算数



算数の勉強は好きですか



算数の授業の内容はよく分かりますか



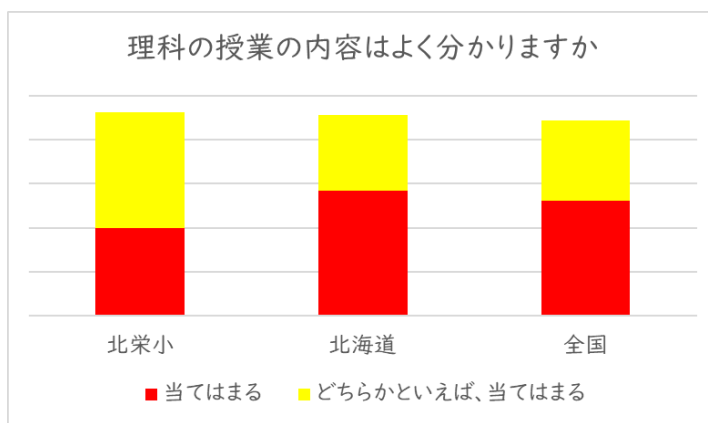
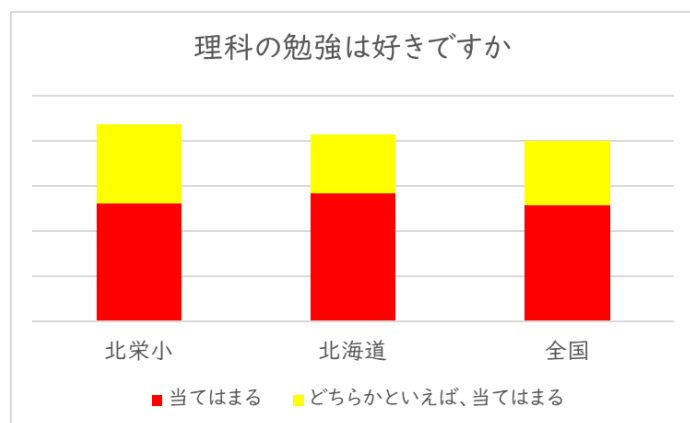
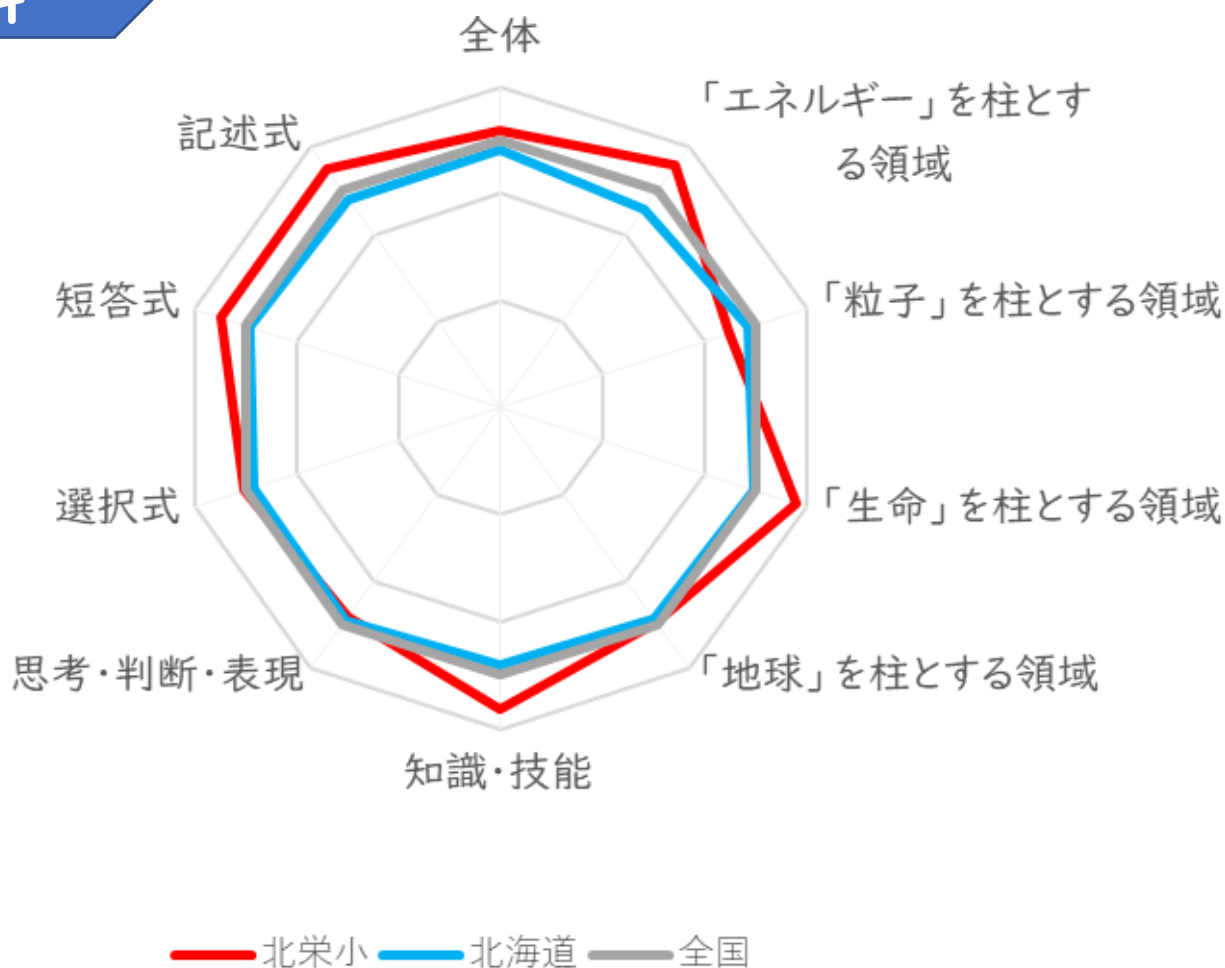
算数における本校の正答率は、全国平均はやや下回りましたが、全道平均並みの結果となりました。「知識・技能」は全国平均を上回っており、計算や基本的な知識の定着がしっかりできていることがわかります。

また、「データの活用」の問題では、グラフや表などを使った読み取りに関する内容で、全国平均に近く、活用力も育ってきていることがわかります。児童質問からは、算数の学習に意欲的に取り組む児童が多いことがうかがえます。これは習熟度別学習や少人数指導など、個に応じた「楽しい・わかりやすい」指導の成果だと思われます。

【今後に向けて】

「思考・判断・表現」が全国・全道よりも低く、自分の考えを説明したり、理由を考えたりする力に課題が見られますので、「わかる」から「説明できる」へと学習活動を発展させていきます。記述式問題は全国と比べて低く、自分の考えを書く問題が苦手な傾向が見られます。説明や記述の場面を増やし、書く力・表現力の育成に取り組んでいきます。

理科



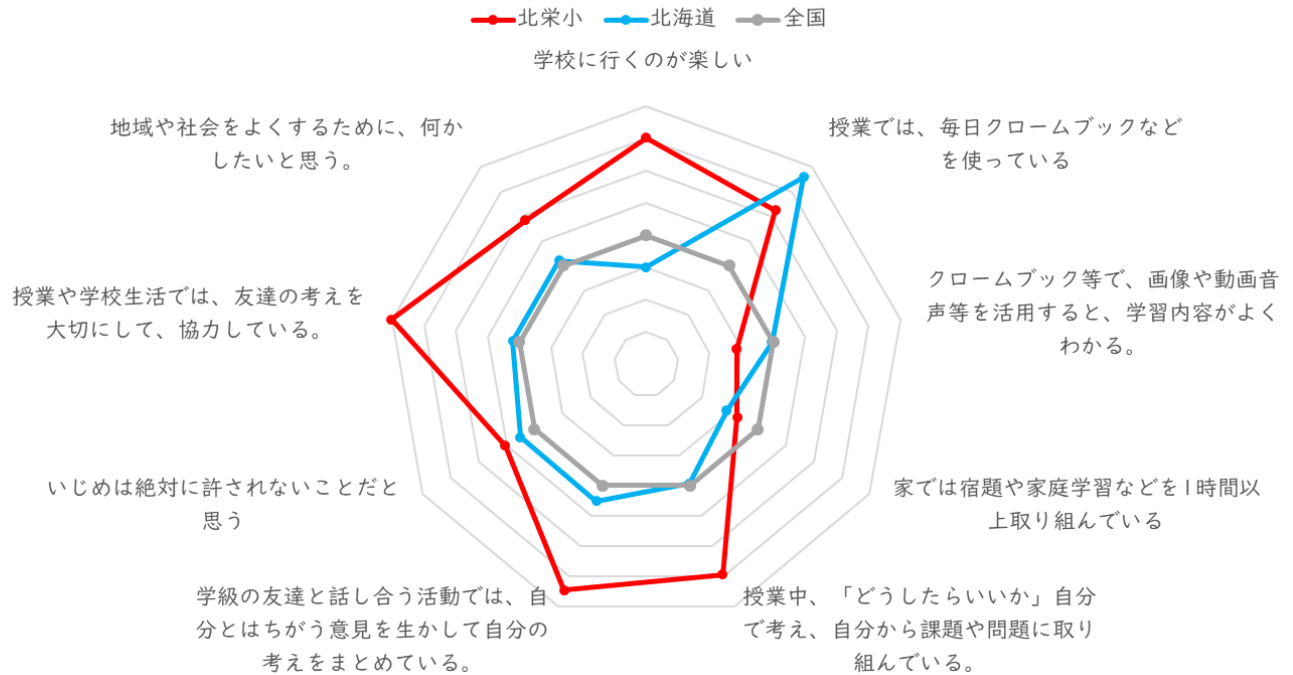
理科における本校の正答率は、全国・全道をやや上回りました。「知識・技能の正答」が、全国・全道よりも高く、前回のR4年度の調査と比較しても、専科指導による専門性のある授業で基礎的な内容や要点を押さえる力が身に付いていると言えます。「生命」領域が全国を上回っており、これらは実験や観察による学習の成果が大きいとかがえます。

【今後に向けて】

記述式問題では、自分の考えを書く問題がやや苦手という傾向が見られます。考えを言葉で説明する力を育てるには、他教科においても、振り返り等で意図的に記述する機会を設定する必要があります。

児童質問より

今年度重点指標の全国との比較



全国よりも高い項目

- ・将来の夢や目標がある
- ★いじめは絶対に許されない
- ★学校に行くのは楽しい
- ・幸せな気持ちになることがある
- ・読書が好き
- ・自然の中で遊んだり観察したりする
- ・地域や社会をよくするために何かしたい
- ・授業での ICT 使用(ほぼ毎日)
- ・ICT 機器で文書を作成できる
- ・インターネットで情報収集できる
- ・ICT 機器でプレゼンを作成できる
- ★友達と話し合う活動を通して、考えを深めている
- ・授業で学んだことを実生活に生かす
- ・先生はわかるまで教えてくれる
- ★お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる
- ★学級をよくするために話し合い、解決方法を考えている
- ・健康に過ごすために、学んだことや保健室の先生などから教えられたことを役立てている

「している」の回答に焦点をあてて5%の差

★＝今年度、指標としている項目

全国よりも5%以下低い項目

- ・朝食を毎日食べている
- ・自分で学び方を考え工夫している
- ・道徳の授業で、自分の考えを深めたり、友達と話し合ったりする活動に取り組んでいる
- ・クロームブック等で、画像や動画音声等を活用すると、学習内容がよくわかる

【アンケート結果より】

肯定的な回答が多く、「学習への意欲が高い」「自己有用感が高い」「学習環境が整っている」「支えてくれる人がいる」傾向が見られます。

一方で、朝食をとらずに登校している児童の割合が、全国・全道と比べて高いという結果も明らかになりました。朝食は、子どもたちの「集中力」「体力」「気力」に大きく影響し、学習や生活習慣にも深く関わる重要な要素です。

お忙しい朝の時間帯とは存じますが、お子様が朝食をしっかりとれるよう、引き続きご家庭でのご配慮とご協力をお願い申し上げます。